

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	5年の月日が流れる中で、考え方や見方に固定観念ができてしまっているため現状に対する客観的な判断ができていない。また法人の理念・あおぞらの理念に対してズレが出てきてしまっている。	全職員が初心に立ち返り、現状に対して真摯に向き合い受け止める。法人の理念・あおぞらの理念を浸透させ方向性を統一する。	個別の面談を毎月行い、振り返りの機会を増やす。毎月、全体での話し合いの時間を持ち方向性の統一を図る。他施設への研修を行い、客観的に自施設の事を考える機会をもつ。	6ヶ月
2	36 37 38	心身のレベル低下の対応策が中心となってしまう、個別での生活を楽しむ支援が不足してきている。	個人が1日でも多く充実し日を送る事が出来る支援を実践する。	ユニット会議内容をレベル低下の対応策で終わらず充実した生活が出来る支援を職員で協力し合い実践に向けて行く。	6ヶ月
3	23 36	帰宅を訴えられる入居者様のその時の気分・感情に配慮した言葉掛けができていない。	入居者様の状況(気分・感情)を理解して帰宅を訴えられる回数が減少するようにまた、帰宅を訴えられる時間が短くなるようにする。	どのような時に帰宅を訴えられるのか、帰宅を訴えられる前後の様子やどのような言葉掛けをすると落ち着かれるのかなどの情報収集を行い、その方に合った言葉掛けや・環境を整備する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。